

令和2年度

事業計画書

令和2年4月 1日から

令和3年3月31日まで

公益財団法人平戸市振興公社

令和2年度事業計画書

(基本方針)

令和2年4月1日から4年間の指定管理者の指定を受け、平戸市切支丹資料館、平戸市生月町博物館・島の館、平戸市総合運動公園、平戸市市民プール、平戸市たびら昆虫自然園の5施設について管理運営を行うこととなった。管理運営に際しては、それぞれの施設が持つ高いポテンシャルを有効活用し、平戸市が持つ特徴的な歴史文化の普及啓発や市民サービスの向上に努めていく。

公益目的事業については、公1歴史文化振興事業、公2スポーツ・文化振興事業に公3の事業として、これまで収益事業で実施してきた田平学校給食共同調理場管理運営事業を「学校給食普及充実及び食育推進支援事業」として実施する。収益事業については、これまで実施してきた施設貸付事業を廃止し、収1の事業として売店等事業、収2の事業として一般廃棄物収集事業を実施する。但し、今年度は平戸城が改修工事により休館であることから、公1歴史文化振興事業のうち平戸市平戸城の管理運営事業及び収1売店等事業の平戸城売店等事業を休止する。

I 公益目的事業

1 歴史文化振興事業（公1）

(1) 平戸市平戸城の管理運営

平戸城が改修工事により休館となる為、事業休止。

(2) 平戸市切支丹資料館の管理運営

根獅子地区を中心とした地域に根ざした切支丹関連の道具やパネルの展示を行う。地域に伝わる「キリシタン聖具」の所在、伝来の情報を収集し展示の充実を図るとともに、展示品が「本物の資料」であるという希少性を市内外にアピールし広報活動に努める。さらに地域の協力を得て信仰精神の掘り起しを行い、行事の再現や内容の公開に繋げていく。また、修学旅行生などにも分かり易く紹介できるよう展示内容を工夫していく。

<企画展>

①根獅子と生月のキリシタン文化紹介

平戸市生月町博物館・島の館に所蔵する資料を借用し、根獅子と生月のキリシタン文化について、聖具や信仰形態などのテーマ別に並列して展示し、その違いについて紹介する。

(3) 平戸市生月町博物館・島の館の管理運営

平戸市生月町博物館・島の館の所蔵品の中から、館内の展示コーナー別に捕鯨やかくれキリシタンに関する資料や、漁業や農業に関する生業に

ついて解説パネル等により紹介していく。また、世界文化遺産に登録された「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の中で、平戸市にある2つの構成資産についてのサテライトセンターの役割を担い、来館者や地域の方々への普及活動に努めていく。

<講座等>

①小中学校向けの学習講座

平戸市内の小中学校の総合学習受入れの機会を活用し、常設するパネルや音声ガイドでの説明に加え、それぞれの学年にあわせた解説を工夫して行い生月の歴史・文化の継承に努める。

②世界遺産普及講座事業

平戸市内の観光ガイド及び関係団体を対象に、平戸における「かくれキリシタン信仰」の歴史を中心とした世界文化遺産講座を実施する。

③老人福祉施設利用者向けレクリエーション

過去の記憶を呼び起こしたりする事で脳に刺激を与え認知機能が改善するという「回想法」の手法を取り入れ、生月の昭和のDVDや昔の民具等を活用し、生月町内の老人福祉施設利用者向けレクリエーションの提供を行う。

<企画展>

①五月節句飾り展

こどもの日に合わせた端午の節句飾りの展示を行い、鎧の着用体験やグッズ販売を行う。

②生月島の精霊様飾り展

生月島の信仰を中心とした生活の中で特徴的な様相を残すお盆の精霊様飾りを、納戸再現コーナーに忠実に再現し、かくれキリシタン信仰との接点や共通点等について紹介する。

③たびら昆虫自然園「園外標本展」in 島の館 ※たびら昆虫自然園共催

夏休み期間中、たびら昆虫自然園所有の甲虫を主とした標本や昆虫写真コンクール作品を約100点展示する。また、たびら昆虫自然園と連携して期間中に入館者を対象とした昆虫標本づくりを行う。

<公演等>

①「オラショ」の特別公演

世界文化遺産の普遍的要素の一つである、生月地区のかくれキリシタン信者が禁教から現在まで継承してきた「オラショ」の公演を納戸再現コーナーにて開催する。

②秋の茶会

秋の観光シーズンに合わせ、鎮西流の茶会を開催し、入館者には呈茶を行う。

2 スポーツ・文化振興事業（公2）

（1）平戸市総合運動公園の管理運営

各種スポーツ大会やイベント、健康増進の場所として、利用者が満足できる管理運営をし、利用増加につながるよう施設の整備を向上させていく。芝生の管理については、近年、春から夏の高温や乾燥、長雨など自然環境の変化で芝生の生育に大きく影響が出てきていることから、これまでの経験を活かして適切かつ細やかな芝生管理技術で利用に影響が出ないよう努めていく。また、天然芝グラウンドとして利用者の期待に応え一年を通じて常緑で利用できる環境を整えていく。施設の有効活用と利用者層の拡大に関しては、多目的グラウンド・野球場周囲をウォーキング場所として、周囲の距離を表示するなど利用しやすい環境を整えホームページ等に掲載するなどし、市民への周知を図っていく。加えて、利用者会議を通じて各団体の意見を調整し、より多くの大会や合宿等を受け入れられるように環境を整えていく。さらに、利用者の声には積極的に耳を傾け評価された部分は伸ばし、改善の声にも迅速に対応し、全国・県の大会から市や民間団体の大会まで、大会規模に関係なく常に安全快適に利用できるよう努めていく。自主事業としては、市内スポーツ団体やスポーツ人口が減少している中でも利用者が多いグラウンドゴルフ競技の大会を開催して高齢者の利用促進、健康増進を促す。また、例年開催している学童軟式野球大会、U-11少年サッカー大会も継続して行う。小学生から高校生までのスポーツ団体の利用料金が減額されて利用しやすくなったことから、情報の周知を図るなどし、利用者増やスポーツ人口の拡大に繋げていく。

<主催するスポーツ大会>

第11回ライフカントリー杯学童軟式野球大会

第11回ライフカントリー杯U-11少年サッカー大会

第1回ライフカントリーグラウンドゴルフ大会

<主催するイベント>

ライフカントリーグラウンド無料開放（年2回）

（2）平戸市市民プールの管理運営

市民サービスの向上と市民の健康づくり、青少年の健全育成を目的に管理運営を行っていく。幼児から小学生向けの水泳教室を年3期に分けて実施。また参加者のレベルに合わせた小学生の初心者対象の短期水泳教室を夏休みに、上級者向けの育成教室を年間をとおして実施し、水泳教室参加の児童、生徒向けに配布している季刊誌「とびうお」を水泳に興味を湧くように内容の充実を図り、個々の技術向上へと繋げていく。大人向けの水泳教室（マスターズ教室）や50歳以上の方限定のアクアビクス教室など各種教室の充実に取り組むとともに、指導技術の向上にも努める。

各種教室利用者の成果披露の為の水泳大会も12月に開催する。利用者増への取り組みとしては、屋外プールオープンに合わせた市民無料開放日の設定や、新たな取り組みとして、2階会議室の有効活用も兼ねて、専門講師の指導のもとにヨガ教室を開くほか、プールを利用したことがない方へのサービスとして水着の無料レンタルを実施する。

施設管理については、救急救命講習を全職員受講してAEDの使用方法などについても再確認し、さらなる安全確保、事故防止に努め、安心して利用できる施設運営に努める。

<主催するスポーツ大会>

シーライフひらど水泳大会

(3) 平戸市たびら昆虫自然園の管理運営

管理運営の柱である園内の解説案内の充実を図るため、昆虫などの生き物が多様に生息する環境整備に努めていく。また、情報発信に欠かせないSNSへの取り組みについては、園内、観察風景、イベント開催時の様子を記録データ化する事から着手すると共に、プロジェクターなどを活用して公開していく。

夏休みの工作、リース作りなどの体験は、当日申込みを受け付けるなど、気軽に参加出来るよう工夫し、主要なターゲットであるファミリー層向けに、もっと身近な施設として認知していただけるよう努めていく。

<企画展>

①園外写真展・園外標本展

平戸市民、観光客に広く昆虫園を知ってもらう目的で、平戸市内数か所において「写真展」「標本展」を開催する。また、平戸市外からの誘客のためにアルカス SASEBO において「写真展」を開催する。

<主催するイベント>

①栗林さんの写真教室

講師に昆虫写真家の栗林慧氏を迎え、昆虫写真やカメラ撮影に興味がある人を対象に写真教室を開催する。カメラ撮影の楽しさを伝えながらリピーター獲得、写真コンクール等の行事に繋げる。

②夏休み工作体験

夏休み期間中、説明書付きの工作キットを販売し、園内で工作体験を実施する。

③思い出標本作り体験

個人で飼育してきた昆虫を標本として残したい人を対象に、作り方の指導を行う。8月中旬から9月末までの予約制。

④リース作り体験

冬季イベントとして、クリスマス・お正月用として気軽にリース作

りを体験してもらおう。

⑤夜行性昆虫の観察会・鳴く虫の観察会

毎年人気の高い個人向け観察会を、夏休み中心に5回行う。予約制により団体の受入れも行う。

⑥写真コンクール

九州圏内の昆虫写真の公募を行い、昆虫写真家の栗林慧氏をはじめとした審査員で入賞作品を選定する。応募作品は園内外の作品展やホームページ上で紹介する。

3 学校給食普及充実及び食育推進支援事業（公3）

平戸市田平地区の3小学校及び1中学校の給食の調理、配送を行う。

①学校給食の推進

リザーブ給食、バイキング給食、リクエスト給食、ジビエ献立など栄養士と相談しながらメニューや提供方法を工夫して児童、生徒の給食への関心を高めていく。

②給食用食材の選定及び調達

田平産・平戸産の食材をできるだけ使用して地産地消に努める。児童、生徒に地元の食材に対して関心、愛着を持つように献立や給食時に食材について知らせていく。

③衛生管理について

調理作業時は、平戸市指定衛生管理マニュアルを忠実に遵守し、安全安心な給食の提供に努める。また、小・中学校の長期休暇中にすべての食器、調理器具の点検を実施する。衛生害虫等駆除消毒及び清掃については業者に委託して実施する。

④学校給食を通じた食育の推進、支援について

ホームページを活用して調理の様子や献立、行事食などわかりやすく告知、紹介をする。また、職場体験として調理場への中学生の受入れを行う。

II 収益事業

公益目的事業に加え、収益事業として次の2事業を行う。

1 売店等事業（収1）

（1）平戸城売店等事業

平戸城が改修工事により休館となる為、事業休止。

（2）島の館売店事業

館内展示の基本コンセプトである捕鯨や漁業、キリシタンに関する商品の販売を行う。品揃えについては、平戸市内業者によるオリジナル商品を積極的に取り入れながら、季節に応じたレイアウト変更も行い、リピーターや地域の利用者に飽きさせない工夫を施す。また、夏休み期

間中の「たびら昆虫自然園移動展」に合わせた特設コーナーでの昆虫グッズ販売を行う。

(3) たびら昆虫自然園売店事業

夏場のオオクワガタ、カブトムシなどの生体販売や、昆虫飼育用のマット・ゼリー等を飼育の仕方などのレクチャーも加えて販売し、売上増に繋げる。また、近年注目を集めている昆虫食の販売も行い、話題性も取り入れた売店づくりに取り組む。

2 一般廃棄物収集事業（収2）

平戸市田平地区の一般廃棄物を市が定める分別基準に従い定められたコースを回り収集する。また、北松北部クリーンセンターで処理された焼却灰の運搬を行う。収集作業中は、エコドライブに努め、始業前、終了後には車両の点検整備を徹底する。また、各地区のごみステーションの美化に協力して日々の収集作業がスムーズに行えるよう努めていく。